内資料２

beyond2020マイベストプログラム

2019年6月
内閣官房オリパラ事務局

2020年東京大会： 大会ビジョン

○ 基本コンセプト

① すべての人が自己ベストを目指し**（全員が自己ベスト）**

② 一人ひとりが互いを認め合い**（多様性と調和）**

③ そして、未来につなげよう**（未来への承継）**

「全員が自己ベスト」という基本コンセプトを日本全国の一人ひとりに広げていけないか。

一人ひとりが健康面等の自己ベストを目指すことで、大会を契機としたレガシーに。

（参考）2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針（平成27年11月27日閣議決定）（抜粋）

4．大会を通じた新しい日本の創造
（4）健康寿命・ユニバーサルデザインによる共生社会の実現
①大会を弾みとした健康増進・受動喫煙防止
大会を弾みとして、個人の主体的な健康増進の取組を促進することにより、健康寿命の延伸及び医療費の適正化を目指す。（以下略）

beyond2020とは

○ 東京大会を契機に様々な主体の参画を促し、2020年以降のレガシーを創出。

○ 文化を発信する事業を認証する「beyond2020プログラム」を展開。

↓

○ このプログラムのメッセージを活かして、自己ベストを目指す個々人の取組を促せないか。

（参考）2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針（平成27年11月27日閣議決定）（抜粋）

2．基本的な考え方

（2） **次世代に誇れる遺産（レガシー）の創出と世界への発信**

大会を開催期間において確実に成功させるのはもとより、高齢化社会、環境・エネルギー問題その他の日本が直面し多くの先進国に共通する課題を踏まえ、**大会の開催後も有用であり、次世代に誇れる有形・無形の遺産（レガシー）を全国に創出するとともに、日本が持つ力を世界に発信する。**

（参考）「beyond2020プログラム」（2017年1月～）

・日本文化の魅力を発信する事業・活動であって、多様性（バリアフリー等）又は国際性（多言語化等）に配慮した取組を認証。

・ノンスポンサー企業を含め、幅広い団体が申請可能。

認証件数　11,396件
認証組織　69組織
2019/6/14 時点

beyond 2020

beyond2020マイベストプログラム（2018年12月～）

○ **健康面等**での自己ベストを目指す個々人の取組を支援する事業・活動を認証。

① 個々人による「マイベスト目標」の設定及び当該目標の達成に向けた行動を支援する事業・活動

※マイベスト目標とは、健康面等でより最適な状態を目指すために、個々人が2020年7月24日時点での目標として設定するもの

② 個々人が「マイベスト目標」の達成に向けた行動を継続するための工夫を取り入れた事業・活動

○ 認証を受けた事業・活動はロゴマーク使用可。

beyond 2020
BE MY BEST

beyond2020プログラムのロゴマークのデザインについて
・「いいね」や「グッド」などの賛同のジェスチャーをモチーフ。
・beyondの「b」や日本を象徴する「わ」とも読み取れる。
・日本の文化を共に継承し拡げていきたい、との願いを込めて、2020年を新たなる発展へのステップとしてシンボライズ。

マイベスト目標の例

○　例えば、以下のような「マイベスト目標」の設定が考えられる。

- ◆　体重、体脂肪率
- ◆　血圧、血糖値
- ◆　運動の実施回数（毎日ジョギング、毎日1万歩　等）
- ◆　スポーツの記録（マラソンや水泳でのベストタイム　等）

※　上記に限らず、個々人のニーズに沿った目標設定が可能

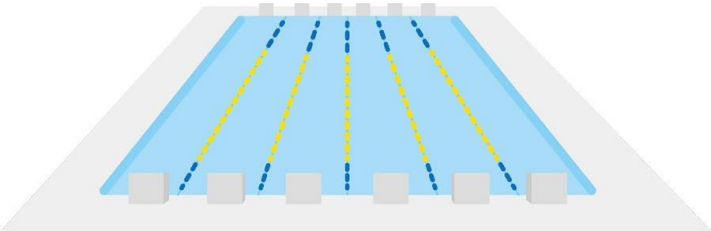
【留意事項】

- ・　マイベストプログラムはマイベスト目標の達成を保証するものではない。
- ・　個々人の健康状態その他の事情を勘案し、適切な目標設定及び行動を促す。

様々な主体による活用

〇ノンスポンサー企業を含め、例えば以下のような幅広い主体による活用が可能。

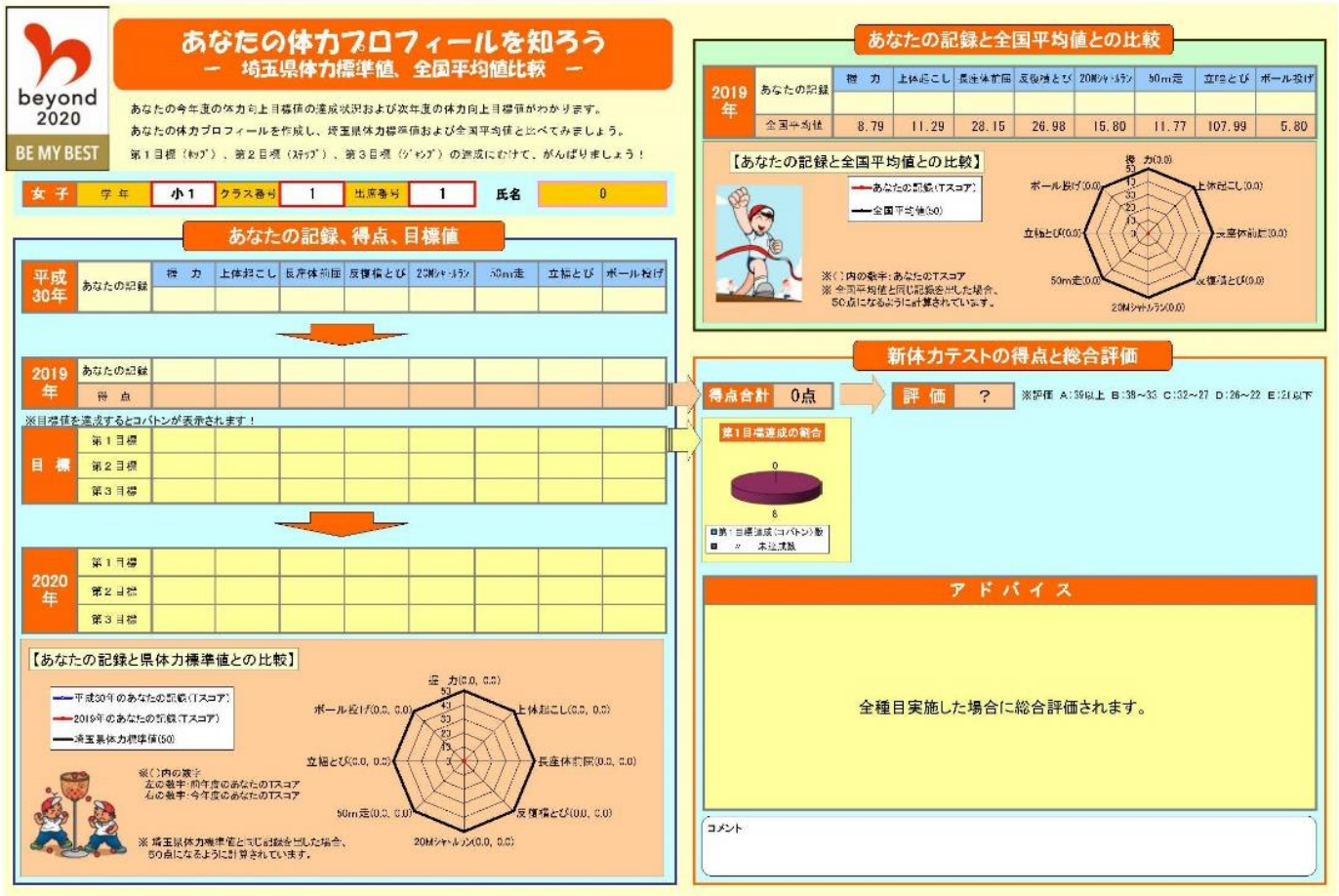
- ◆ フィットネスクラブ
- ◆ 総合型地域スポーツクラブ（住民主体の取組）
- ◆ 健康経営に取り組む企業等（従業員向け　等）
- ◆ 健康増進に取り組む自治体（住民向け　等）
- ◆ 学校



「埼玉県児童生徒の新体力テスト」取組事例

○埼玉県内の公立小学校、中学校、高校等（1,199校、約57万人）の児童生徒を対象にしたプログラム。

○2019年5-6月に行う新体力テストの記録を踏まえ、2020年の同テストの記録をマイベスト目標に掲げ、体力、運動技能、運動意欲の向上を目指す。



埼玉県の体力プロフィールシート

認証事業一覧（１／４）

【平成31年2月28日認証】

事業者名	事業・活動名	概要
JR東日本スポーツ株式会社	オールジェクサー・マイベスト応援プログラム	・フィットネスクラブの成人会員とキッズ・スクールを対象にしたプログラム。 ・水泳のタイムや腕立て伏せ・腹筋の回数をマイベスト目標に設定し、定期的に記録会を開催して、会員相互でチャレンジを共有。
株式会社ルネサンス	ルネピック　マイベスト達成応援プログラム	・ジュニアスイミングスクールに通う会員を対象にしたプログラム。 ・25mクロールの記録をマイベスト目標に設定するとともに、「お互いに応援し合える精神を育む。」といった行動目標も宣言。
株式会社タクティブ	PING PONG マイベスト応援プログラム	・卓球スクールの会員を対象にしたプログラム。 ・一人ひとりが、卓球の様々な技術項目の習得やラリー回数などのマイベスト目標を設定し、段階的に、各自のペースで習得できるようなプログラムを提供。
RIZAP株式会社	RIZAPマイベストチャレンジ	・RIZAPの個人会員に加え、同社が出張型トレーニング等を実施する法人・自治体を対象としたプログラム。 ・「自分史上最高のカラダ、美ボディ」を目指した体重、体脂肪率の数値などをマイベスト目標に設定。
セントラルスポーツ株式会社	セントラルスポーツ・マイベストチャレンジ・サポートプログラム	・スポーツクラブの一般会員とスクール会員を対象としたプログラム。 ・大人向けには体重・体脂肪率等、子供向けには体育スクールでの技の習得等のマイベスト目標を定めて館内にも掲示し、皆でモチベーションを高める。

認証事業一覧（２／４）

【平成31年3月22日認証】

事業者名	事業・活動名	概要
埼玉県教育委員会	埼玉県児童生徒の新体力テスト	・埼玉県内（さいたま市を除く。）の公立小学校、中学校、高校（1,199校）の児童生徒を対象にしたプログラム ・新体力テストの記録をマイベスト目標に掲げ、地域の方々と一緒に朝の運動を行うなどの取組を通じて、体力、運動技能、運動意欲の向上を目指す。
株式会社MTG	SIXPAD beyond2020マイベスト応援プログラム	・トレーニングギア「SIXPAD」のユーザー等を対象にしたプログラム。 ・目指したい体型や運動習慣をマイベスト目標に掲げ、SIXPAD店舗において、定期的に進捗状況を数値化し、食事内容を含む改善点等をアドバイスする。

【平成31年3月27日認証】

事業者名	事業・活動名	概要
株式会社サニックス	健康づくりで、自己ベストを目指そう！サポートプログラム	・従業員を対象にしたプログラム。 ・保健師等との個別面談でマイベスト目標の設定を促し、食事・運動記録を見える化するためのウェアラブル端末等を活用し、従業員の健康な身体作りを支援。

認証事業一覧（３／４）

【令和元年5月8日認証】

事業者名	事業・活動名	概要
桑名市	桑名卓球珈琲マイベスト応援プログラム	・桑名市民を対象にしたプログラム ・桑名市の城南まちづくり拠点施設に設けられた「卓球珈琲」において、ヘルスケア教室と卓球教室を毎月実施し、マイベスト目標の設定支援と、健康管理のアドバイスや運動指導を行う。
株式会社フジタ建設コンサルタント	マイベストスコア応援プログラム	・従業員を対象にしたプログラム。 ・スポーツクラブと契約し、2019年のフィットネススコアを参考にマイベスト目標を設定するとともに、食事メニューの提示や運動の指導によって健康づくりを促す。

【令和元年5月9日認証】

事業者名	事業・活動名	概要
一般社団法人千葉県歯科医師会	ハチマルニク 8029マイベスト応援プログラム ※「8029」は、80歳になっても肉を摂取する元気な高齢者を増やしていこうという運動。	・主として高齢者を対象にしたプログラム。 ・高齢者の歯科治療において、噛む機能と飲み込む機能の維持・回復を図るため、嚥下回数等をマイベスト目標に設定し、口腔領域の筋肉や舌の機能維持のための運動等を指導。

認証事業一覧（４／４）

【令和元年5月13日認証】

事業者名	事業・活動名	概要
コナミスポーツ株式会社	コナミスポーツクラブ・マイベストチャレンジ応援プログラム	・卓球スクール、スイミングスクール、ゴルフアカデミーの会員等を対象にしたプログラム。 ・卓球、スイミング、ゴルフの各種目でマイベスト目標の設定を促し、一人ひとりの取組をコーチ・スタッフが指導・サポート。目標に至るまでの記録更新や目標達成を表彰。
有限会社ぴゅあサポート	LEN ＆ ぺんぎん村 マイベスト達成応援プログラム	・健常者と障害者がともに活動するフィットネスクラブ「LEN」と主として障害者を対象にした「ぺんぎん村水泳教室」の会員を対象にしたプログラム。 ・各個人の身体・健康状態、年齢等を考慮した上で、トレーナー・インストラクターが最適な目標の設定をサポートし、トレーニングメニューを作成・提示。

お問い合せ先

内閣官房
東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局
beyond2020マイベストプログラム担当

TEL：03-3581-0179　　FAX：03-3581-4355
Email：beyond-mybest.p6g@cas.go.jp

申請書類や詳細な情報はこちら

「マイベストプログラム」と検索、または
QRコードよりbeyond2020マイベストプログラムWEBサイトへアクセス

永田クラブ
文科クラブ
JSPOクラブ　　へ貼り出し

令和元年６月２５日
内　閣　官　房

「beyond2020 プログラム」認証事業者による
多言語発信の担い手の見える化
（多言語対応ピクトグラムの作成及び無料提供）について

beyond2020 プログラムの認証事業者の一つである（株）ジャパンデザインが、この度、他言語にて日本文化を発信できる担い手を分かりやく発信するピクトグラム「多言語対応ピクトグラム」を作成しましたのでお知らせいたします。

同ピクトグラムは、（株）ジャパンデザインに申し込みいただければ、無料で電子データ（AI 又は JPG）を使用できます（7 月 1 日から申込受付開始。なお、使用にあたっては、beyon2020 プログラムに認証されている事業・活動である必要があります。詳細別紙参照）。今後、同社では、全国の温泉地の各施設や熱中症予防声かけイベントにて使用されるとのことであり、内閣官房としても、多言語発信の担い手の見える化は、国際交流の場でも効果的であることから、今後、ホストタウンに参加する自治体（4 月末現在 390 自治体）に同ピクトグラムの活用を呼び掛けることとしています。

＜多言語対応ピクトグラム（例）について＞

縦型記載例

多言語対応／MULTILINGUAL

横型記載例

多言語対応／MULTILINGUAL

なお、ピクトグラムの詳細は、（株）ジャパンデザインのリリースを参照ください。

【参考】

「beyond2020 プログラム」は、多様性や国際性に配慮した文化事業・活動を政府や地方自治体等が認証し、日本文化の魅力を国内外に広く発信する取組です。特に、日本文化の魅力を外国人の方により分かりやすく効果的に発信するためには、相互のコミュニケーションも重要であり、日本文化の多言語発信の担い手の見える化も重要となります。

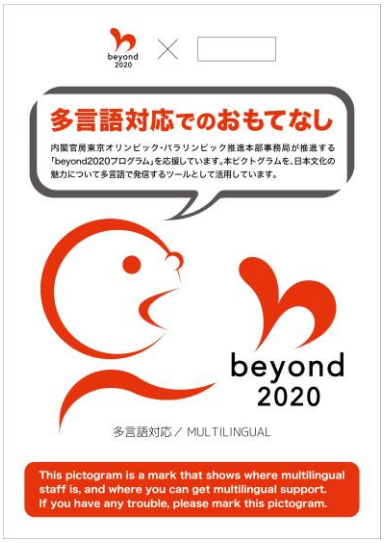
【問い合わせ先】
東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局
（内容について）林、田島、依田　　TEL：03-3581-0924

報道関係者各位

2019年6月25日

株式会社ジャパンデザイン

訪日外国人に気軽に声をかけしてもらおう！「beyond2020プログラム多言語対応ピクトグラム」



温泉総選挙事務局及び熱中症予防声かけプロジェクト事務局をつとめる株式会社ジャパンデザイン（本社：東京都渋谷区、代表取締役：社会起業家／山下太郎）は、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局が実施している「beyond2020プログラム」の取組に賛同し、日本の良き文化を多言語にて発信するためのアイテムとして、訪日外国人が気軽に声をかけられる目印となる「beyond2020プログラム多言語対応ピクトグラム」を作成しました。
多言語対応ピクトグラムは、温泉地など外国人旅行者が多く集まる場所や店舗、イベント会場にて、スタッフや従業員がネームプレートに付け、各々の話せる言語を見える化するものです。
ピクトグラムのデザインは、beyond2020プログラムマークがイイね！という手のシルエットをモチーフにしていることから、「任せて！」という意味合いを持たせたマークに仕上げたものになっており、吹き出し部分に使用言語を記載する形式にになっています。
なお、弊社では、beyond2020プログラムに賛同し同取組を支援する立場から、弊社のプロジェクトでの連携自治体・企業・団体でなくとも、全国の自治体・観光協会・企業・団体さまからも、利用申請をいただければ、お使いいただけるように展開をいたします。

７月１日より、使用申請を受付開始いたします。弊社でも、全国の温泉地の各施設や、「涼み」の文化を伝える熱中症予防声かけイベントにて使用する予定でおり、是非全国各地でお使いください。

ご使用を検討・希望される場合は下記までお問い合わせください。

【本件に関するお問い合わせ先】
温泉総選挙事務局：今村（いまむら）
TEL：03-6418-5910　FAX：03-6418-5912　メール：info@onsen-ouen.jp

こんなシーンで

ホテルや小売店の店舗スタッフ、イベントスタッフなど さまざまなシーンで使えます！

カフェや居酒屋などの飲食店で

スーパーやコンビニなどで

イベント会場や受付などでも！

店舗のサイネージや
ポスター掲出で
多言語対応の目印に！

写真：pixtaより

スタッフ１人１人の話せる言語を表現！

吹き出し部分に国旗のシールや文字を自由に記載できるデザイン！

スタッフ１人１人、話せる言語を記載するなどして活用ください！

beyond 2020
多言語対応／MULTILINGUAL

English OK!

データは無料で配布！

申請いただければ、データは無料でお渡しします！

使用にあたっては、beyond2020プログラムに認証されている事業・活動である必要があります。またデータをお使いの場合は「beyond2020プログラム多言語対応ピクトグラムデザインガイドライン」に則った、使用をお願いいたします。
詳しくはお問合せ下さい。
なお、印刷は実費にて受け付けております。

今後の展開

温泉総選挙エントリー温泉地への配布、熱中症予防のイベントにて使用するほか、beyond2020プログラム認証事業者へ展開予定！

温泉総選挙では７月１日より申込・配布開始！
熱中症予防声かけプロジェクトでは７月に同プロジェクトが実施するイベントにおいて
外国ご対応スタッフが使用します！

熱中症予防声かけプロジェクトとは？

熱中症予防声かけプロジェクトは、環境省と官民一体で取組む、熱中症予防を目的としたプロジェクトです。熱中症についての正しい知識の普及を図るとともに、熱中症予防のための注意事項（熱中症予防5つの声かけ：飲み物を持ち歩こう、温度に気をくばろう、休息をとろう、栄養をとろう、声をかけ合おう）を、共通ロゴマーク等を用いて賛同企業、賛同自治体等が各々の活動を通じ国民へ声かけを実施するものです。
熱中症予防声かけプロジェクトWEBサイト　http://www.hitosuzumi.jp/

温泉総選挙とは？

「温泉総選挙」は、環境省・内閣府・総務省・経済産業省・観光庁の後援で、旅して日本プロジェクトが主催する温泉地の活性化推進を目的とした、全国民参加型の地域活性化プロジェクトです。（後援は2018年度実績、2019年度申請中）
「温泉総選挙」を通じて、今まで十分に伝えきれていなかった全国の温泉地と連携し、各温泉地の持つ様々な魅力はもちろん「旬」な取り組み・ネタを、より多くの方々に提供していきます。
「温泉総選挙」公式WEBサイト　https://onsen-ouen.jp/